

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス No. 13

2019年2月13日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオン第5回中央委員会 「変革2027」で掲げられた働き方を、真摯に 討議し、職場の中から実践を通じて創造

ジェイアール・イーストユニオンは、2月12日、都内にて、第5回中央委員会を開催し、「安全の確立と、民主的企業内労働組合の構築に向け、全組合員で組織拡大を加速させ、民主化闘争を完遂しよう！」をスローガンとする、当面の活動方針を決定した。

安全の確立、春闘、民主的な労働組合・労使関係の構築と組織強化・拡大等の方針を決定

執行部を代表して菅野執行委員長は、「今、社員の組合加入率が3割の状況で、会社施策が推し進められ、社員会・社友会での職場づくりに、職場の管理者などは疲弊している。やはり、会社とともに見据えた目標と一緒に歩む労働組合が必要不可欠である。私たちが組合未加入から組織拡大を図り責任組合とならなければならない。我々の民主化闘争は、将来に向けて安心して親しまれるJR東日本を、後輩たちに継承することで、それ以外の何物でもない。残された時間の中で、自ら行動の実践をするという選択しかない。これまでやって来たからこそ、より強く行動の実践を要請する。」と、組織拡大、民主化闘争に向けて力強く決意を述べた。

また、7月の第25回参議院議員選挙で支援する田村まみ氏（UAゼンセン組織内候補）にも来賓として出席いただき挨拶をいただいた。

大多数の社員が労働組合未加入の現状は憂慮すべき

国井事務局長から、安全確立、2019春季生活闘争、組織拡大に向けた取り組みなど当面する諸課題の活動方針を提起し、7名の中央委員から、主に組織拡大や民主化闘争に臨む決意などについて発言があった。執行部による中間答弁と総括答弁を経て、全議案が満場一致で承認され、最後に菅野執行委員長のガンバロウ三唱で委員会は成功裡に閉会した。

以上